



平成 26 年 11 月 26 日発行 第 14 号

国臨協関信支部茨城地会

発行責任者 青木 貞男（茨城東）

編 集 赤堀 良道（茨城東）

千葉 雅裕（霞ヶ浦）

第 42 回国臨協関信支部学会

地区会コーナー優秀賞

受賞おめでとうございます

第 42 回国臨協関信支部学会 茨城地区会

輝く未来へ！プロフェッショナルとしてチャレンジ

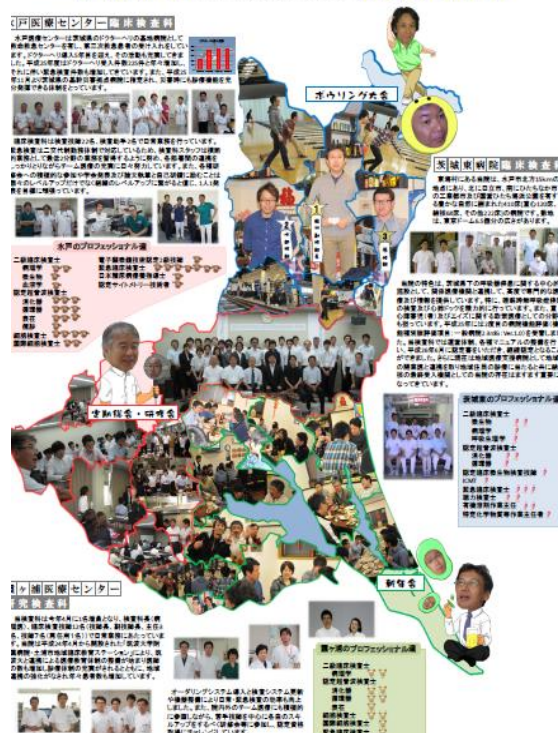


表 彰 状

地区会コーナー優秀賞

茨城地区会 殿

貴地区会は第 42 回国臨協関信支部学会の地区会コーナーにおいて創意工夫を凝らした発表が高く評価され優秀賞に選ばれました

よってその榮譽を称えここに表彰します

平成 26 年 9 月 13 日

第 42 回国臨協関信支部学会

学会長 峰岸 正明

NHO 水戸医療センター山田浩司理事、山根千夏世技師その他スタッフの皆さんお疲れ様でした。

平成26年度国臨協関信茨城地区会 役員

会 長	青木 貞男（茨城東）	精度管理委員	渡邊 隼（水 戸）
副会長	藤沢 紀良（水 戸）	精度管理委員	磯部 祥子（茨城東）
副会長	児玉 徳志（霞ヶ浦）	精度管理委員	大澤 俊之（霞ヶ浦）
事務局長	赤堀 良道（茨城東）	会計監査	仲間 盛之（水 戸）
理事（会計）	小林 昌弘（茨城東）	会計監査	岡村 治（霞ヶ浦）
理事（渉外・学術）	山田 浩司（水 戸）	役員推薦委員	根元 浩（水 戸）
理事（広報）	千葉 雅裕（霞ヶ浦）		



退職するにあたって



水戸医療センター 岡村 悦子

第42回国臨協関信支部学会におきまして、支部表彰をいただきありがとうございました。推薦していただきました茨城地区会の役員の皆様ならびに会員の皆様にお礼を申し上げます。昭和51年に国立霞ヶ浦病院に採用となりましたが、用手法が全盛の時代でしたので一人で5～6個ものストップウォッチを持つての仕事というスタイルの、忙しい毎日でした。そのため当時は定年まで働けるとは思ってもいませんでしたが、あれよあれよという間に38年もの月日が流れてしまいました。良き上司や同僚にも恵まれ、仕事も遊びも一生懸命、今もまさに最後の夏休みを楽しんでいます。しかしその長い道中には、水戸病院の新築移転などの嬉しいことや東日本大震災等の辛く悲しいこともたくさんありました。皆で一丸となつて見事に乗りきって来ました。今振り返るとどれもこれも懐かしさで一杯、つくづく「年をとったなあ」と感じます。残り半年もなくなりましたが、無事ゴールに向かって進んで来られたのも皆様のお力添えあつての事と心より感謝しています。最後になりましたが、地区会のますますの発展と会員の皆様のご健康とご活躍を祈念しています。

新人紹介

霞ヶ浦医療センター

児玉 徳志



4月1日付け
で国立精神・
神経医療研究
センターから
赴任してまい
りました児玉
徳志（こだま
とくし）と申
します。今回
の異動で6施
設目（国際医

療・横浜医療・がん中央・信州上田・精神神経センター）となりました。現在は神奈川県藤沢に住んでおり、単身赴任か長距離通勤するかで悩みましたが、通勤することにしました。しかし、2時間30分の通勤（東海道線・常磐線）は長い・・・今では電車の中（弱冷房車）が仮眠室兼書斎になっています。土浦駅からセンターまでは自転車を使っていますが、4月の桜川桜並木は映画のワンシーンに出てくるような風光明媚な所です。

私ことですが、20年前にメタボ解消のために初めたジョギングが、フルマラソンまでエスカレートしてしまいました。今では唯一の趣味であり、休日は江の島から茅ヶ崎漁港までをトレーニングコースとして爆走しています。冬場、江の島から見える富士山はとても綺麗ですよ。また、ここ数年の市民ランナー急増で大会エントリー（Webエントリー）が困難になり四苦八苦しています。茨城県のマラソン大会といえば、4月の「かすみがうらマラソン」11月の「つくばマラソン」が有名です。是非参

加してみたいと思っています。

赴任して半年が過ぎましたが、検査科のため・病院のため・地域医療のために努力したいと思っています。よろしくお願いいたします。

水戸医療センター

仲間 盛之



平成26年4
月1日付で
NHO 千葉東
病院から赴任
して参りました仲間 盛之
（なかま も
りゆき）です。
茨城地区会の
会員になって

早半年が過ぎました。赴任早々の慌たしさも落ち着き、少しずつではありますが、身の回りのことが見える様になってきました。

千葉から茨城に来て単身赴任生活がスタートし、独身に戻ったかのようで、今では宿舍での解放感に満ち溢れた私生活を送っています。しかし休日にもなると掃除、洗濯、一週間分の買い出しをしなくてはならず、ここ最近では手抜き掃除、手抜き料理を覚えました。職場でも仕事の合間に、おかげの話やスーパーの話が自然と会話になっている次第です。遊ぶ金欲しさに生活費をやりくりし、この半年で那珂湊港に岩牡蠣を食べに2回も連れていってもらいました。また、貧乏温泉ツアーにも出かけ、仕事も遊びも一生懸命をモットーに生活しております。おかげで体重が気になる有様で、夕方からは藤澤技師長と一緒に病院の周りを

約 6km ですが走ったり、歩いたりして健康管理を心掛けています。また新たな趣味として茨城の田園風景や空の広さに感動した私は、愛車（原チャリ）との田園散歩が休日の行動パターンになっています。この先、寒くなると沖縄出身の私は、どのような寒さに立ち向かわなくてはならないかと不安ですが、水戸の田んぼ道を愛車と共に走り続けたいと思います。

職場の水戸医療センターは茨城県のドクターヘリの基地病院でもあり、救急患者が頻繁に搬送されてきます。夜勤帯や休日の日勤帯の当番に当たった時は、少し心細いですが検査業務をこなし、平日の日勤帯は外来採血業務と副技師長業務をこなす毎日を送っています。

これまで検査科スタッフに支えられて、あっという間の半年が過ぎましたが、これから私が検査科スタッフを支えていけるように努めていきたいと思っています。そして茨城地区会の会員として、行事への参加、協力をしていきたいと思っています。

まだ納豆への抵抗感がありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

水戸医療センター

山田 浩司



平成 26 年 4 月 1 日付で国際医療研究センター病院より参りました山田浩司です。平成 15 年 11 月から 5 年間霞ヶ浦医療センターに勤務

していたので 2 度目の茨城県となります。

「奥さんが茨城出身だから茨城を希望したんだってね」と何人かに言われましたが、そんな希望は出していません。茨城は生活しやすく良い印象を持ったまま離れましたが、戻ってくるとは思っていませんでした。

出身は東京都練馬区です。高校までサッカー部に所属し、社会人になっても趣味でサッカー・フットサルを続けていました。また、バイクにも乗っていたのですがここ数年はそのどちらも機会が減ってしまいました。そのような中、2 年前に知り合いの影響を受け、運動も二輪操作もできるロードバイクに乗るようになりました。速く走れはしないものの筑波山ヒルクライムや富士スピードウェイ・もてぎサーキット等のエンデューロレースに参加したり、都内では荒川サイクリングロードや皇居周りを走ったりしていました。茨城に来てからは茨城空港、つくばりんりんロードや霞ヶ浦のサイクリングを楽しんでおり、今後は霞ヶ浦一周（カスイチ）に挑戦したいと思っています。

国際医療研究センター病院では細菌検査を担当していましたが、現在は一般検査を担当しています。経験の乏しい分野で不安だらけでしたが、一般検査経験者の方々に教えていただき半年間で多くの事を学ぶことができました。11 月から細菌検査室にローテーション予定ですが、一般検査に携わったことで技師としての幅が広がり、細菌検査を行う上でも視野が広がりました。検査科皆様の支えのもと仕事ができる恵まれた環境に感謝しながら、毎日の仕事を丁寧に迅速に行い、患者・医師から喜ばれる検査室にしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

霞ヶ浦医療センター 千葉 雅裕



平成26年4月1日付でさいがた医療センターより赴任して参りました千葉雅裕です。

出身は東京都立川市で、災

害医療センターの近くになります。西武学園医学技術専門学校を卒業し、平成17年4月から国際医療研究センターで約1年間非常勤としてお世話になり、採用されたのが縁もゆかりもない新潟の地でした。

新潟と言われて思いつくのは「酒・米・魚・大雪」くらいのもので、酒は飲めない、刺身は食べられない、寒いのは苦手という私にとっては不安以外の何物でもありませんでした。それでも、住めば都というだけあって、刺身は食べられるようになり、冬場の毎日5時からの雪かきもさまになりました。ただ、酒だけはどうしても体が受け付けませんでしたが……。さいがた医療センターは小さな病院ですが、その分、生化、血液、一般、病理、生理と様々な分野を学ばせて頂きました。現在は細菌を担当しており、さいがたでも細菌を学ぶ機会があったのですが、担当業務との兼ね合いなどもあり、ほとんど手つかずのまま転勤することになり、少しでも勉強しておけば良かったと後悔しています。

さて、霞ヶ浦医療センターに赴任して早くも半年が経ちました。出身が東京の為、気候や環境は全く問題なく、名産である納豆も好物なので、色々な納豆を食べ比べているところです。小学二年生の息子が新しい学校に慣れる事ができるかが自分のことよりも不安でしたが、さすが子供は慣れるの

が早い！今までと変わらないような感じで通い、友人もすぐにでき、人見知りの激しい私とは大違いでした。そんな私も職場ではスタッフの皆様に迷惑をかけながらも支えていただき、ようやく慣れてきた感じが（自分では）しています。細菌検査はほぼゼロからのスタートであるとともに、当然の流れでICT部会の一員となり、勉強しなくてはならない事が多くあるので、学生時代以降久しぶりに教科書を開き勉強している最中です。

最後になりましたが、赴任早々茨城地区会の理事を務めさせて頂くことになり、今号の編集もさせて頂いております。会員の皆様には今後ともお世話になる事が多々あると思いますが、ご指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。

霞ヶ浦医療センター 宇都木 健



今年の4月から霞ヶ浦医療センターで働いている、新人の宇都木健です。業務としては主に検体検査をしており、週に

一度、採血と生理検査をしています。検査技師として半年が経ち、仕事にも慣れ始めましたが自分の知識不足を痛感しています。

簡単に自分の経歴を紹介します。生まれは茨城県水戸市で、小学校4年まで水戸で過ごしました。両親が共働きだったので、水戸のおばさんの家にいることが多かったです。そして父親の実家である茨城県阿見町に引っ越してきました（今は実家から職

場に通っています)。地元の高校を卒業し、雪国に行きたくなり青森県の弘前大学で4年間を過ごしました。大学卒業後は就職しましたが、いろいろあり辞めてしまって、製薬会社で派遣の仕事をしていました。製薬会社の人からの助言もあり検査技師になろうと決め現在に至ります。

趣味は体を動かすことで、バレーボールやスノーボードをしています。バレーは中学からやっていて、今も週に一度地元の体育館でやっています。スノーボードは大学時代に覚えて、冬になると新潟や福島などに行っています。今年は蔵王にも行ってみたいと考えています。また音楽を聴くのも好きで、rock in japan fes は毎年行っています。

家は農家をやっていて休日は家の畑を手伝っています。畑は主に栗とブルーベリーを生産しています。春になるとタケノコもとれます。9月は栗の収穫で大変でした。これから冬になると栗の剪定があるので憂鬱です。休日が雨で畑の手伝いが無い時は小説を読んだり、ギターを弾いたり、近くのサウナのある銭湯にいったりしています。

検査技師としてこれからどの分野をやりたいのかは、まだはっきりとは決まっていますが、初心を忘れずにがんばっていきたいと思います。茨城地区の方にはこれからも迷惑をかけるとは思いますが、よろしくお願いします。

水戸医療センター 山根 千夏世

平成26年4月1日付で水戸医療センターに採用となりました山根千夏世です。

出身は茨城県北茨城市で、水戸市よりも福島県の方が近いその土地で高校生までを過ごし、その後北海道札幌市で6年間の学

生生活を送りました。おそらく自分は言葉



が訛っているのだろうという自覚が一応はあったのですが、北海道で暮らし始めた頃に「意外と訛っていないだね」と

言われたことに甘んじていたせいか結局あまり訛りは直らなかったようです。人生の4分の1を過ごしたのにも関わらず、北海道は広く、遠出をして各地を回ることが十分に出来なかったことが心残りです。そして毎年冬に立てる「今年こそは雪で滑って転ばないようにしよう」という目標が達成されることがなかったことも残念に思っています。滑らない雪上の歩き方がこちらで生かされることがあるかは分かりませんが、ここでは雪が膝上まで積もるようなことがないので車の運転が苦手な私としては少し安堵しています。

趣味は絵を描くことやお菓子作りなど、“作る”作業が好きです。昔は手芸に熱中していた頃もありましたが手先は器用ではなく、細かい作業は苦手です。家の中で出来ることが好きで運動も苦手なのでアウトドア派ではありませんが、ひとりぶらりと出かけるのは意外と好きです。久しぶりの本州なので、行動範囲が広がることを信じて意識的に遠出することが出来たら良いと思います。

学生時代は研究室に籠っての実験ばかりな生活でしたが、就職後は生理検査部門を担当し、生体を扱うことの難しさや楽しさを感じながら日々検査を行っています。この半年間で様々な経験をさせて頂きましたが、これからもっと多くの経験を積み重ねて成長していけたらと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

水戸医療センター 木村 元紀



今年 3 月に神奈川県相模原市の大学を卒業し、水戸医療センターで採用になりました木村元紀です。

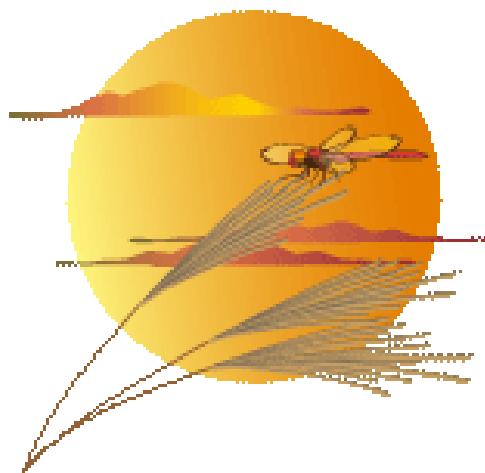
出身は宮城県大崎市、農業が盛んでササニシキやひとめぼれの産地で田園風景が広がっています。私の友人には、地元に残って農業を継いでいるものも多くいます。実家は兼業農家ですので、季節によって旬の作物を送ってくれますのでとてもありがたく思っております。田舎暮らしを 18 年間しておりましたので、大学に行くため上京して初めて新宿駅から相模原に向かう際、全く別の方向の電車に乗って通常の倍以上の時間がかかってしまいました。宮城では車移動が普通で、電車の乗り換えをした経験が全くなく、あまりにも多くの電車の種類に戸惑うばかり・・・、でも今では何処にでもスイスイ乗り換えが出来るようになりました。

食べ歩きを趣味としている私は、大学の友達に会いに東京や神奈川へ出掛ける、美味しいものを食べたりして休日を過ごしています。また、観光スポットを巡ったりもしています。何と言っても好きなのは「お酒」特にビールが大好きで、オクトーバーフェストなどのビールの祭典がある時は遠くまで足を運んでいます。旅先の地限定ビールや日本酒などを飲むこと、やっぱり食べ歩きよりはしご酒の方がいいです。

それと最近、中・高・大学と励んでいたソフトボールを水戸のチームに入って練習しており、秋には水戸地域のソフトボール大会があるので楽しみにしています。

入職してまだ半年ほどしか経っていませんが、優しい先輩技師の指導のもとだんだん仕事に慣れてきました。まだ臨床検査技師として未熟な私ではありますが、これから沢山のことを吸収して日々成長していきたいと思います。

茨城地区会の皆様、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



編集後記

今号は来年退職される岡村主任と新入会員 7 名からの御挨拶、そして見事地区会コーナー優秀賞を頂いた地区会ポスターを掲載させていただきました。私も地区会ポスター作製に関わった事がありますが、このような芸術的センスが欲しいです。水戸医療センターの皆様を始め、お忙しい中ポスター作成にご協力してくださった会員の皆様、ありがとうございました。紅葉も始まり日に日に寒くなってまいりました。インフルエンザや感染症が流行る季節です。会員の皆様、御身体には十分気を付けましょう。

(記：千葉)